

# 心の輪13R



『松井秀喜-5打席連続敬遠-』という資料を通して、「正々堂々とは？」について考えました！



ルール違反ではないし、勝つための作戦だから問題はないはず。

そういえば、この間のサッカーW杯でのポーランド戦でも、日本のパス回し作戦が問題になっていたな。

でも、松井選手に真正面から勝負していない。これって、正々堂々戦ってたと言えるのかな？正々堂々ってそもそも何だ？

人として、人に対してすることをしっかりと考えていかななくてはならない。負けようが勝とうが、一生懸命、正々堂々と戦えたことが、悔いのない正しい戦い方だと思う。相手側のチームとしても、自分たちのチームとしても、「一生懸命戦えて良い試合だった」と、両方のチームが思えるような試合ができれば、お互いにとっても良い試合になると思う。

正々堂々とは、真正面から自分の最大の力を出して戦うことだと思う。今日の話の敬遠や、ワールドカップのパス回しなどは、少しならいいかと思うけど、ずっとされたら卑怯だと思う。ちゃんと自分の力を相手にぶつけることが大切なのではないかと思った。

今回思った『正々堂々』とは、ルールでは敬遠してもいいということにはなっていたけど、勝負のために頑張って練習していたかもしれないので、『相手のことを考える』ということだと思いました。

正々堂々とは、自分の能力をつかうこと、頭をつかうことを言うと思う。そもそも、ルールに従っていれば、卑怯だとは言えないと思う。



## saying この人のひと言

貴方の心が正しいと感じることを行いなさい。  
行えば非難されるだろうが、行わなければ、やはり非難されるのだから。

### (アメリカ合衆国第32代大統領夫人 エレノア・ルーズベルト)

正々堂々と実力で勝負した方がすっきり終わることができると思うけど、作戦を計画し、作戦に沿って正々堂々戦うという方法も悪くはないと感じた。

僕は、最初は反対だったけど、サッカーの話を聞いて、改めて「作戦だからいいんじゃないのかな」と思った。また、敬遠とかをされても、それを打てるような人になったいいと思った。

「正々堂々と戦った」という方が、「敬遠で勝った」とか「ボール回して勝った」という方よりも後の感じが良かったと思った。正々堂々とは、正しく正面と向き合って戦うことだと思った。正々堂々という言葉は、やり遂げた感じとかが入っていると思った。

正々堂々と戦うことは良いことだと思う。だけど、勝つためには、松井選手を5打席連続敬遠しなければいけない。けど、そんなことをしたら、相手は良いかもしれないけれど、このチームは嫌な気持ちになる。だから反対だと思った。